



# 若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 実習生の受け入れ

園長 宮脇景子

7月8月と実習受け入れをしました。毎年、夏休み期間中に数名が保育実習をしています。

児童養護施設は、認知度が高いですが児童心理治療施設は、まだまだ認知度が低いのでこの機会に少しでも理解していただける実習になるよう取り組んでいます。

実際に子どもの支援の補助をしながら、子どもとの関わりを楽しんでもらいたいと思い、今回の実習でも、一緒に園庭でフットサルをしたり、絵を描いたりする時間をとりました。また実習生の得意な編み物も教えてもらう時間もとりました。自分の得意なことをきっかけに子どもたちとの関わり糸口に繋げることができたことは将来に活かせると思います。

コミュニケーションが苦手な子どもたちが必要以上にベタベタと接したり、試し行動で暴言を言ったり、拒否的な態度をとることもあります。今回も、実習生との最初の挨拶時に、小学生男児が実習生の名前をもじって、からかったと振り返りの時に報告がありました。その男児は、コミュニケーションを取る手立てとして、相手をからかうことしか知らないことを伝えました。そうすると、安心して子どもたちと積極的に関わってくれていました。

短い期間ですが、子どもの小さい変化に気づくことが一番大きい実習体験になるのだと思います。

実習期間中のある日、退園生が初めて賞与が給されたと、子どもと職員分のお菓子を持って

来園してくれました。そして子どもたちや実習生に、自分が入所していた当時の話をしてくれていました。その様子を見ながら、あの当時は職員とのぶつかりもあったけど、学園での時間は、大きく成長するために必要な人生の貴重な1ページになっていたと感じました。

実習生は彼の姿に何を感じ取ったのでしょうか。普通に実習しているだけでは、学べない、この仕事の意味を感じ取って頂けていれば有り難いと思います。実習最後に、結果が直ぐに現れる仕事ではないことも伝えました。

今後も実習生を積極的に受け入れ、将来の仲間が増えるようにしたいと思います。



高校生が若竹学園の厨房でのアルバイトを始めました！アルバイトを始めて数日たった本人に感想を聞くと、「衛生管理が想像より

も厳しく色々注意しなければならない部分が多くて大変だけど職場の人が優しくて、皆が『美味しかった!』『バイト頑張れ!』と言ってくれるのが嬉しくてモチベーションになっている。」と笑顔で話してくれました。

アルバイトを始めて心なしかしっかり者になった気がします。社会に出て働くことの厳しさや楽しさをぜひ学んでほしいと思っています。今後も本人のペースでアルバイトを続けて社会性を身に付けて欲しいと思いながら見守っています。



## 海

夏休みの間に、海水浴に何度か出かけました。海で泳ぐ前に準備運動をし、ライフジャケットを着用した上で、大人と子どもと一緒に楽しむことができました。プカプカ浮き輪に乗ってゆったりと過ごしたり、スタートとゴールを決めて競争をしたり、海底にある貝類を探したりと遊び方が多種多様で素晴らしいと思いました。



体が埋まるくらい砂を沢山掘って、砂に埋まって遊んでいる子どももいました。砂の感触が温かく気持ち良さそうにしていました。



海藻を沢山集めて頭にのせて遊び、今年の夏もワカメ王子が誕生しました。



帰園の道中で「また海に行きたいな」と嬉しそうに話すのを聞くと、夏休みの思い出の一つができたと感じました。

## かき氷 綿菓子



夏祭りでも作った、かき氷と綿菓子を作って食べました。かき氷は、いちご・メロン・ぶどう・ハワイアンブルー・エメラルドパイン・レモンの6種類あり、何種類の味を選んだ子どもが多かったです。1回目は職員が作り、2回目は子ども達から「私も作りたい!」「俺、大きいの作れるよ!」と声上がり、2回目は自分たちで作りました。



笑顔一杯の楽しそうな姿を見て職員も嬉しくなりました。

綿菓子も白色の砂糖以外にもいろいろな種類があり、いちご・ぶどう・レモン・マンゴー・ハワイアンブルー・メロンの6種類あり、1種類だけの子もいれば全種類混ぜて作る子もいました。

夏休みということもあり、かき氷も綿



菓子も人気があり、子どもから「次はいつするの〜?」「食べたことない種類の味も食べてみたいな〜。」と言う声がありました。子どもたちの声に応え、夏休み恒例の楽しい活動にしていきたいと思います。

## サバイバルゲーム

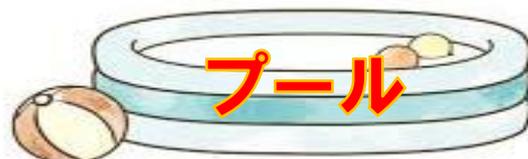


今年の夏は、日中にかけて暑く、外で遊ぶと吸い込む空気で咳き込むほどの暑さでした。熱中症警戒アラートにも影響され、外で遊ぶのを控えることもありました。その為、学校の多目的ホールを使用し、サバイバルゲームを行いました。使用するものはナーフ弾と専用のおもちゃの銃です。

安全の為、目を保護するゴーグルを着用し、

段ボール等で障害物を設計し、お互いに撃ち合います。ルールは単純で、お互いの当たった回数で勝負が決まります。

サバイバルゲームは、小学生から大人まで力の差なく遊ぶことができるので子どもたちには好評です。多目的ホールで何をすると、いつも「サバゲーがしたい!!」と希望が出る程の人気行事となっています。



新しくビニールプールを購入しました。小学生が4~5人一緒に入ることができるほどの大きさです。

ビニールプールに入るのが初めての子どももあり、最初は様子を伺っていましたが、1人がプールに入り始めると他の子どもどんどんと参加していきました。水鉄砲で楽しく打ち合い、夏の暑さを吹き飛ばしていました。

## 防災訓練



7月30日、防災センターの体験学習に参加してきました。『消火』『暴風』『煙』『地震』について、防災センターの設備を使って体験し学ぶことができました。水消火器を使って行う消火訓練。訓練用の煙の中、暗い通路の非常灯を探しながら出口まで進んでいく煙から身を守り避難する訓練。ゴーグルを着用して暴風を体感する暴風体験。震度の強度

を変えて、強い揺れを感じとる地震体験。どの体験からも、災害の怖さを感じとり、災害にあった時どうすべきか考えさせられる学びの機会になりました。



7月13日、日本舞踊の先生から商店街のドーム広場で行う盆踊りに参加しませんかと声を掛けて頂き、いつも熱心に練習しているFさんが参加してきました。この日は高松まつりの花火大会の日とあって商店街も多くの人で賑わっていました。

多くの人が行きかう中、わだもんの方々と正調「一合ました」を堂々と踊りあげていました。

先生たちと一緒に花火を見ることも出来て夏の思い出が一つ増えました。



## 8月行事

1日・2日・3日 5日・12日	海水浴
22日・23日	買物外出
24日	縄文体験
27日	防災訓練
29日～30日	キャンプ

在籍人数 令和5年9月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	0	4
中学生	8	1	9
高校生	3	0	3
一時保護	0	2	2
合計	15	3	18

ご寄付ありがとうございます。

たまや様 食品・日用品沢山  
退園生 お菓子・ジュース沢山

### 編集後記

夏休み、いつでも水遊びが楽しめるようにビニールプールを活用しました。まだまだ暑さが続きますが、涼を呼び込めるように工夫して過ごしたいです。

井上

### 第443発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192  
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160  
ホームページ <http://4on.or.jp>  
Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)  
編集兼発行者 若竹学園 編集委員  
発行責任者 宮脇 景子

